

07

校種・教科等	小中学校 養護教諭	受審番号		氏名	
--------	--------------	------	--	----	--

小学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年11月1日 第3校時(45分)

(2) 場 所 6年1組教室

(3) 学年・学級 第6学年1組(30名)

使用教科書 新しい保健(東京書籍)

(4) 単 元 名 病気の予防

(5) 指導する児童の状況

**【既習事項】**

- ・第1次の「病気の起こり方」において、病気は生活行動、体の抵抗力、環境、病原体などのいくつかの要因が関わり合って起こることを学習している。

**【単元のねらい】**

- ・病気の発生要因や予防の方法について理解できる。
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響について理解できる。
- ・病気の予防に関する課題を見付け、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。

**【児童の状況】**

- ・テレビやインターネットで感染症などの情報についてある程度知識を持っている児童もいる。
- ・自分の意見を伝えることが苦手な児童がいる。

(6) 指導計画(全7時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 (1時間)	<b>【病気の起こり方】</b> ・病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わり合って起こること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第2次 (1時間) (本時) p53～56	<b>【感染症の予防】</b> ・病原体が主な要因となって起こる病気を適宜取り上げ、その予防には、病原体の発生源をなくしたり、移る道筋を断ち切ったりして病原体が身体に入ることを防ぐことが必要であること。 ・予防接種や適切な運動、食事、休養及び睡眠をとることなどによって、身体の抵抗力を高めておくことが必要であること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第3次 (1時間)	<b>【生活習慣の予防】</b> ・生活行動が主な要因となって起こる病気を適宜取り上げ、その予防には全身を使った運動を日常的に行うことが必要であること、偏った食事や間食を避けたり、口腔の清潔を保ったりすることなど、健康によい生活習慣を身に付ける必要があること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第4次 (3時間)	<b>【喫煙、飲酒、薬物乱用の防止】</b> ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第5次 (1時間)	<b>【地域の保健活動】</b> ・地域では、保健に関わる様々な活動が行われていること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

07

校種・教科等	小中学校 養護教諭	受審番号		氏名	
--------	--------------	------	--	----	--

小学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年11月8日 第3校時(45分)

(2) 場 所 6年1組教室

(3) 学年・学級 第6学年1組(30名)

使用教科書 新しい保健(東京書籍)

(4) 単 元 名 病気の予防

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・第4学年の「体の成長とわたし」において、よりよく成長するためには、適切な運動、バランスのとれた食事、十分な休養・睡眠を毎日続けることが必要であることを学習している。

【単元のねらい】

- ・病気の発生要因や予防の方法について理解できる。
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響について理解できる。
- ・病気の予防に関する課題を見付け、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。

【児童の状況】

- ・テレビやインターネットで感染症などの情報についてある程度知識を持っている児童もいる。
- ・自分の意見を伝えることが苦手な児童がいる。

(6) 指導計画(全7時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 (1時間)	【病気の起こり方】 ・病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わり合って起こること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第2次 (1時間)	【感染症の予防】 ・病原体が主な要因となって起こる病気を適宜取り上げ、その予防には、病原体の発生源をなくしたり、移る道筋を断ち切ったりして病原体が身体に入ることを防ぐことが必要であること。 ・予防接種や適切な運動、食事、休養及び睡眠をとることなどによって、身体の抵抗力を高めておくことが必要であること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第3次 (1時間) (本時) p57～62	【生活習慣の予防】 ・生活行動が主な要因となって起こる病気を適宜取り上げ、その予防には全身を使った運動を日常的に行うことが必要であること、偏った食事や間食を避けたり、口腔の清潔を保ったりすることなど、健康によい生活習慣を身に付ける必要があること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第4次 (3時間)	【喫煙、飲酒、薬物乱用の防止】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第5次 (1時間)	【地域の保健活動】 ・地域では、保健に関わる様々な活動が行われていること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

07

校種・教科等	小中学校 養護教諭	受審番号		氏名	
--------	--------------	------	--	----	--

**中学校『保健体育科』 模擬授業課題**

- (1) 日 時 令和6年 11 月 1 日 第4校時  
 (2) 場 所 2年1組教室  
 (3) 学年・学級 第2学年1組(30名) 使用教科書 中学保健体育(Gakken)

(4) 単 元 名 健康な生活と疾病の予防

(5) 指導する生徒の状況

**【既習事項】**

- ・第1学年の保健体育科において、心身の健康には、生活習慣が深く関わっていること、健康を保持増進するためには、個人の年齢や生活環境などに応じて、運動、食事、休養、睡眠の調和のとれた生活を送ることが必要であることを学習している。

**【単元のねらい】**

- ・健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることについて理解を深める。
- ・生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること、また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることについて理解する。

**【生徒の状況】**

- ・テレビやインターネットで感染症などの情報について、ある程度知識を持っている生徒もいる。
- ・自分の意見を伝えることが苦手な生徒がいる。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 (1時間) (本時) P86～89	<b>【生活習慣病とその予防】</b> ・日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより、予防できること。 ・不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、様々な生活習慣病のリスクが高まること。 ・生活習慣病を予防するには、運動・食事・口腔の衛生等の生活習慣を身に付けることが有効であること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第2次 (1時間)	<b>【がんとその予防】</b> ・がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあること。 ・がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることが有効であること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第3次 (1時間)	<b>【喫煙と健康】</b> ・たばこ中のニコチン、タール及び一酸化炭素などの有害物質が含まれていること、それらの作用により、毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現れること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第4次 (1時間)	<b>【飲酒と健康】</b> ・酒の主成分のエチルアルコールが中枢神経の働きを低下させ、思考力、自制力、運動機能を低下させたり、事故などを起こしたりすること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第5次 (1時間)	<b>【薬物乱用と健康】</b> ・覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によっては幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第6次 (1時間)	<b>【喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ】</b> ・好奇心、なげやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

07

校種・教科等	小中学校 養護教諭	受審番号		氏名	
--------	--------------	------	--	----	--

中学校『保健体育科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年11月1日 第4校時

(2) 場 所 2年1組教室

(3) 学年・学級 第2学年1組(30名)

使用教科書 中学保健体育(Gakken)

(4) 単 元 名 健康な生活と疾病の予防

(5) 指導する生徒の状況

## 【既習事項】

- ・第1学年の保健体育科において、心身の健康には、生活習慣が深く関わっていること、健康を保持増進するためには、個人の年齢や生活環境などに応じて、運動、食事、休養、睡眠の調和のとれた生活を送ることが必要であることを学習している。

## 【単元のねらい】

- ・健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることについて理解を深める。
- ・生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること、また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることについて理解する。

## 【生徒の状況】

- ・テレビやインターネットで感染症などの情報について、ある程度知識を持っている生徒もいる。
- ・自分の意見を伝えることが苦手な生徒がいる。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 (1時間)	【生活習慣病とその予防】 ・日常生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより、予防できること。 ・不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、様々な生活習慣病のリスクが高まること。 ・生活習慣病を予防するには、運動・食事・口腔の衛生等の生活習慣を身に付けることが有効であること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第2次 (1時間) (本時) P90～91	【がんとその予防】 ・がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあること。 ・がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることが有効であること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第3次 (1時間)	【喫煙と健康】 ・たばこ中のニコチン、タール及び一酸化炭素などの有害物質が含まれていること、それらの作用により、毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現れること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第4次 (1時間)	【飲酒と健康】 ・酒の主成分のエチルアルコールが中枢神経の働きを低下させ、思考力、自制力、運動機能を低下させたり、事故などを起こしたりすること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第5次 (1時間)	【薬物乱用と健康】 ・覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によっては幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等
第6次 (1時間)	【喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ】 ・好奇心、なげやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があること。	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考力・判断力・ 表現力等

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。